元気ムラ通信35号

発行:2024年５月

詳細は「あきた元気ムラ応援サイト」からご覧ください。

支え合い

人口減少や高齢化などにより、「出来ない」「難しい」と感じることが増えてきていませんか。
そんな方々をサポートする活動が各地で行われ、地域の活力にもつながっています。
今号は「支え合い」をテーマに各地の取組を集めてみました。ご覧ください。

坂部婦人会の「見守り」

●横手市・坂部地域（40世帯・88人）

旧大森町の4集落でつくる坂部婦人会（会員21名）は、「見守り」をテーマに、住民の除草材散布の代行や火の用心の見回り、社会福祉協議会からの依頼で地域に配布する備品の袋詰め作業なども行っています。

活動で心がけているのは、メンバーが車で出勤したり、散歩する際に、住民の方を見かけたら声をかけること。シンプルですが「これが一番大事」と代表の阿部さんは話します。

散歩中に住民の方と出会ったメンバーが、一緒にお話していたら、その方の体調が悪くなり、助けたこともあったそうです。こうした日ごろの習慣は、真冬の停電や災害時などの「いざという時」、住民同士、お互いを支え合うことにもつながっているそうです。

火の用心に使う伝統の「たすき」。SNSのLINEで「今日、火の用心ですよ」とメンバーに連絡するのは、今の時代ならではだとか(^^)

前山地域の「サロン前山」

●北秋田市・前山地域（110世帯・231人）

平成7(1995)年、住民の交流の場を設けようと始まった七座(ななくら)地区婦人会で毎月1回開催の「いきいきサロン」。年々、住民高齢化とともに参加者が減少し、七座地区では存続出来なくなっていました。そこで前山自治会では単独でも継続に意義があると、令和4(2022)年から自治会主催で「サロン前山」を毎月1回開催しています。お知らせ、サロンだよりを毎回発行、買物が困難となった高齢者支援のため、月2回、買物支援もサロン事業として行なっています。住民の居場所づくりと情報交換の場を絶やすまいと、毎回楽しい企画を準備しています。

小砂川地域の「むらカフェ」

●にかほ市・小砂川地域（252世帯・585人）

4/14（日）、小砂川自治会主催のむらカフェが自治会館で開催されました。お菓子づくりが得意な方が手作りのパンなどを準備し、おしゃべりを楽しみました♪
開催のきっかけは、路線バスが廃止となり、車のない高齢者の方が街中のイベントに行く機会がなくなったことでした。「それなら地域でやってみよう」と、今回初めて、ゆる～くやってみたそうです。周知方法は回覧板とSNSのみですが、消防団メンバーが拡散してくれた効果か、地域内外の子供たちも集まりました。気軽に無理なく集える交流の場として、今後も継続していきたい!とのことでした♪

トピックス？「集落支援員」って？？？

「集落支援員」をご存じですか?
　集落を巡回して地域の現状を把握し、住民の方が地域の活性化や課題の解決に取り組みやすいよう支援する「集落への目配り役」とも言える人です。集落支援員は都市部から移住して活動する「地域おこし協力隊」と異なり、地域の実情に詳しい人などが市町村から委嘱され、全国で活動しています!　出張所や公民館の「地区交流センター」への移行が進む地域では、センターを拠点に活動する集落支援員の方も増えています。活動内容は地域によって様々ですが、「住民の皆さんの活動を応援する」ことが、共通テーマのようにも感じます♪

湯沢市で活動する集落支援員の皆さん♪

　今年で活動2年目を迎えた皆さん。着任当初は何をどうすればいいのか試行錯誤。「集落支援員」という耳慣れない言葉に手探りの状態でしたが、1年を通して行動しながら感じてきたことを教えていただきました♪

●佐藤聡子
●担当／湯沢地域

　試行錯誤の日々ですが、地域の方に声をかけてもらえる機会も増え、やりがいに繋がっています。湯沢地域全体を活性化し、将来にわたって住み続けたいと思える地域づくりを応援していきたいです。

●加藤和加奈
●担当／稲川地域

　なにが地域のためになるのか、暗中模索の日々です。ワークショップや会議など、雰囲気を明るくできるのが私の良いところなので、長所を活かした私らしい支援の仕方があると信じて活動しています。

●本村和美
●担当／雄勝地域

　今まで気付かなかった地域資源や故郷の魅力を再発見することが出来ました。
　今後も地域活動を支援しながら、若い世代にも郷土愛が育つような関わりが出来たら嬉しいです。

●田村裕美
●担当／皆瀬地域

　地域の皆さんとの関わりを通して、ここに暮らす人々の共助のすばらしさに感銘を受け、今後も未来につなげていきたいと感じました。
　地域の素敵なところを大切にし、集落に寄り添う支援を目指します。

活動地域の住民の方からのメッセージ♪

　町内会員と交流を図り、様々な会合や行事に参加してくれています。集落支援員のおかげで、スマホ教室など今まで町内会ではできなかった活動ができるようになり、町内会の活性化に結び付いています。今後も頼りにしています！頑張ってください！　（夜幅町内会　会長／泉　岩雄さん）

　限界集落が始まった令和の時代。すべてが思った以上に早く進み、各集落の進むべき方向が見えにくくなってきた今、彗星のように現れた集落支援員。役所の香りを漂わせない住民相談役、私達が目の届かない裏側を丁寧に見て、聞いて、これからも話題の提供をお願いします。　（皆瀬地域自治組織　会長／小野田 敏昭さん）

現在、秋田県内では、鹿角市、男鹿市、五城目町、由利本荘市、横手市、湯沢市、羽後町で、集落支援員が活動しています。地域のこれからについて、共に考えていきましょう！

お知らせ

2024年の「あきた元気ムラ大交流会」を男鹿市で開催します。詳細は追ってお知らせいたしますので、地域の皆様、お誘い合わせの上、ご参加ください♪　●日時：令和6年9月7日（土）●会場：男鹿市民文化会館

発行
秋田県 あきた未来創造部　地域づくり推進課（元気ムラ支援チーム）
●所在地／〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1　●電話／018-860-1215
●FAX／018-860-3875　●E-mail chiiki@pref.akita.lg.jp